喜多流 自主公演

令和八年 十一月

令和8年 11月22日(日)

13:00 開演（12:00 開場）

十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）

前売券：販売中

料金：全席指定(税込)

S席	10,000円	C席（1階桟敷席）	7,500円
A席	9,000円	D席（2階席）	7,500円
B席	8,000円	学生席（2階席）	2,500円

※25歳以下、要学生証提示

・12時15分より、本舞台にて当日の演目の解説をいたします。お気軽にご参加ください。

・当日券をご用意できる場合は11時45分より発売いたします。

主催：公益財団法人十四世六平太記念財団

協力：一般社団法人喜多会

龍鳥　香川靖嗣

田頭　佐々木多門

令和8年度　喜多流自主公演について

◆ 令和8年度(令和8年4月～令和9年3月)は全10回公演です。

◆ 指定席券　全10回公演分 販売中

◆ 全席指定(税込)

S席	10,000円	C席（1階桟敷席）	7,500円
A席	9,000円	D席（2階席）	7,500円
B席	8,000円	学生席（2階席）	2,500円

※25歳以下、要学生証提示

◆ 令和8年度 喜多流自主公演年間優待券

5枚綴　40,000円(税込)

・ご希望のどの席種でもお選びいただけるお得な優待券です。
・別途座席指定券をご予約ください。（追加料金なし）
・令和8年度自主公演のみ有効、喜多流青年能ではご利用いただけません。
・喜多能楽堂事務局、喜多流各職分にてお取り扱いしております。

チケット予約購入のご案内

インターネット予約

喜多能楽堂ホームページ　https://kita-noh.com/ticket/

（24時間対応、要登録・無料）

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際画面に表示される番号をレジにご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。ご予約の際クレジットカードで先にお支払いを済ませていただくことも可能です。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際に画面に表示される番号を窓口にご提示の上、チケットをお受け取りください。事前に予約画面にてクレジットカードによるオンライン決済をお済ませください。当日のお支払いはお受けいたしかねます。

電話予約

喜多能楽堂事務局（喜多能楽堂内）　TEL. 03-3491-8813

（午前10:00～午後6:00 休館日あり）

【お受取り・お支払い】

① セブンイレブン

ご予約の際お伝えする番号をレジにご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金またはクレジットカード・キャッシュレス決済をご利用いただけます。

② 喜多能楽堂事務局 窓口

ご予約の際にお伝えする番号を窓口にご提示の上、チケットをお受け取りください。お支払いは現金のみとなります。

窓口予約

喜多能楽堂事務局（喜多能楽堂内）　TEL. 03-3491-8813

（午前10:00～午後6:00 休館日あり）

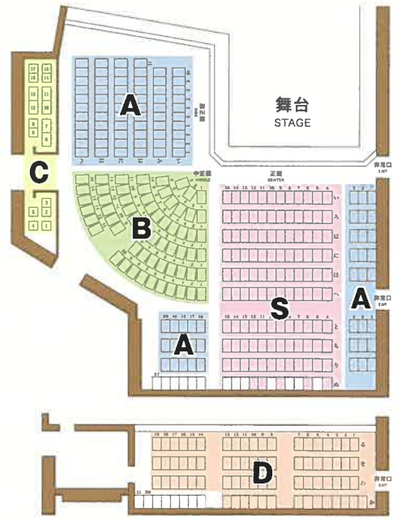
【お受取り・お支払い】

お支払いは現金のみ、チケットは窓口でお受け取りください。

※ お受取り・お支払い方法によって別途手数料がかかります。ご予約の際ご案内いたします。

※ ご予約いただいたチケットのキャンセル、変更はできません。

自主公演観客席ご案内

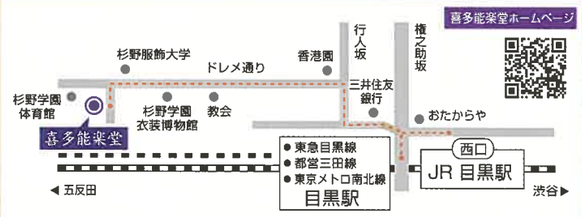


■ S席　10,000円　■ C席（1階桟敷席）　7,500円
■ A席　9,000円　■ D席（2階席）　7,500円
■ B席　8,000円　■ 学生席（2階席）　2,500円

※25歳以下、要学生証提示

会場ご案内

十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）



JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。
※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9
お問い合わせ（喜多能楽堂事務局）TEL. 03-3491-8813
喜多能楽堂ホームページ　https://kita-noh.com/

ご注意

・ロビーが混雑することがありますので、できるだけ開場時間に合わせてのご来場をお願いいたします。
・開演中の途中入場はお断りいたします。
・未就学児童のご入場はご遠慮ください。
・やむを得ない事情により出演者が変更になる場合がございます。
・許可なき写真・ビデオ撮影、及び録音はお断りいたします。
・客席での携帯電話やスマートフォンなど音や光の出る電子機器のご利用はお断りいたします。
・喜多能楽堂内に食堂や軽食の売店はございません。
・喜多能楽堂は全館禁煙です。
・お席を離れる場合は貴重品、お手回り品にご注意ください。盗難・紛失についての責任は負いかねます。
・係員の指示に従っていただけない際には退場していただく場合がございます。

十一月喜多流自主公演番組

解説開始　十二時十五分
開演　十三時

事前解説　狩野祐一

能

烏頭

子方・猟師の子 千代童　塩津希介
シテ連・猟師の妻　友枝真也
後シテ・猟師の霊
前シテ・老人　香川靖嗣
ワキ・旅僧　舘田善博
大鼓　柿原弘和
小鼓　飯田清一
笛　栗林祐輔
アイ・外の浜の浦人　前田晃一
後見　友枝昭世
後見　狩野祐一
地謡　金子龍晟　髙林呻二
塩津圭介　長島　茂
大島輝久　出雲康雅
佐藤　陽　内田成信

狂言

樋の酒

シテ・太郎冠者　三宅右矩
アド・主　土屋光生
小アド・次郎冠者　三宅近成

休憩（二十分）

仕舞

氷室　佐藤　陽
班女　粟谷明生

地謡　狩野祐一　大島輝久　狩野了一　塩津圭介

能

龍田

後シテ・龍田姫
前シテ・巫女　佐々木多門
ワキ・旅僧　則久英志
ワキ連・従僧　御厨誠吾
ワキ連・従僧　渡部　葵
アイ・立田の里人　高澤祐介
後見　塩津哲生
後見　粟谷浩之
地謡　髙林昌司　友枝雄人
佐藤寛泰　狩野了一
粟谷充雄　中村邦生
粟谷友矩　金子敬一郎
大鼓　柿原光博
小鼓　飯冨孔明
笛　槻宅　聡
太鼓　梶谷英樹

附祝言

終了予定時刻　四時四十五分頃

解説

烏頭（うとう）

陸奥へと旅する僧が道中、越中の立山にて修行をし麓へ下ると、一人の老人と出会う。老人は、自分は陸奥の外の浜にて猟師をしていた者で、去年の春ごろ亡くなった身だと言い、故郷の妻子を訪ね、自分に蓑と笠を手向けるよう告げてくれと願う。そして家族への證として、自分が臨終の時まで着ていたという衣の片袖を僧に渡すと、再び旅立つ僧を涙ながらに見送り、行方も知れず消えてしまった。〈中入〉
陸奥の外の浜に着いた僧は、かの猟師の家を訪ね、妻に事情を話し衣の片袖を差し出す。夫の形見の衣を取り出して合わせてみると、ぴたりと合ったのだった。僧が亡者が望んだ蓑と笠を手向けて弔うと猟師の亡霊が現れる。亡霊はウトウの親鳥の鳴き真似をし子を誘い捕まえていた様子を見せ、その咎により地獄でこの鳥に苦しめられていることを訴え、さらなる回向を頼むと消えてしまったのだった。
（約七十五分）

樋の酒（ひのさけ）

主人が外出するので、太郎冠者に米蔵、次郎冠者に酒蔵の番を言いつける。酒蔵の次郎は寂しさを紛らわせるため酒を呑み始めると、米蔵の太郎が「自分も飲みたい」とねだるので、次郎は窓から竹の樋を渡して太郎に酒を飲ませる。いい気分になった二人は、樋で飲むのが面倒になり、酒蔵へ合流して大いに酒宴に興じるが…。
（約二十分）

龍田（たつた）

六十余州に経を納める旅の僧が、大和より河内へ出るべく龍田川のほとりまでやってきた。川を渡って龍田明神へ参ろうとすると一人の女が現れ、和歌を引用して川を渡るのをたしなめる。女は自分は龍田明神に仕える巫女であると言い、別の道から僧を案内する。御神木である紅葉を始め宮々を案内するうちに、巫女は実はここの神体、龍田姫であると述べるとその身から光を放ち、社殿の中へと入ってしまった。
〈中入〉
神の告げを待とうと神前にて眠る僧のもとに、龍田姫が姿を現す。当社の縁起を語り龍田の景色を賞美し神楽を舞ううちに夜も明け、天下泰平を寿いで神はおかえりになったのだった。
（約九十五分）

令和八年　十二月　自主公演番組予告

令和八年　十二月二十日（日）十三時始
●会場　十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）
●前売券　販売中

千寿　内田成信
項羽　塩津圭介